

# 9.13

SUN

## とめよう！戦争への道 めざそう！アジアの平和 2015年関西のつどい

場 所： 中ノ島 中央公会堂大ホール

時 間： 13:30受付 14:00開会 デモ16:00～

資料代： 500円



### 山口二郎

「戦争法案との闘いの意義」

法政大学法学部教授。専門は現代日本政治論

著書に「戦後政治の崩壊—民主シーはどこへゆくか」(岩波新書)など多数

7月13日の衆院平和安全法制特別委員会公聴会で、参考人として、「1960年の安保闘争で市民が岸政権を退陣に追い込み、憲法9条の改正を阻止したことで、日本は戦争に巻き込まれずに済んだ」と主張した。



### 屋良朝博

「つくりだされる沖縄との温度差」

元沖縄タイムス論説委員、沖縄国際大学非常勤講師

著書に「誤解だらけの沖縄・米軍基地」、「普天間を封鎖した4日間」共著など多数

沖縄に米海兵隊を置き続ける本当の理由は、日本政府が政治的リスクを負いたくないからではないのか。

沖縄に米軍基地を置いているのは軍事的な理由でなく、国内政治の問題であるということだ。それは昔から続いて今に至っている。



私たちは、新たな「戦前」のただ中に立たされています。……………

与党は7月16日、安全保障関連法案(戦争法案)を衆議院で強行可決しました。民意を無視する安倍政権の独裁政治に対する怒りの声はどんどん広がっています。

戦争法案は明らかに違憲であり、強行可決は憲法9条と立憲主義を根こそぎ破壊する暴挙です。

戦争法案は、戦後70年間戦争をしてこなかった日本を、アメリカ軍とともに海外で武力を行使し、殺し殺される戦争する国へ大きく変える、まさに戦後最悪の悪法

です。憲法9条を守り生かして、安倍政権による戦争への道を断ち切り、アジアの平和と共生の道を切り拓きましょう。共に力を合わせ、参議院で、戦争法案の廃案を実現しましょう!

安倍政権は、戦争法案とともに、戦争の拠点づくりのために辺野古新基地建設を強行しようとしています。

沖縄を再び戦争の最前線にし、米軍基地集中の構造的差別を強める新基地建設の動きに対し、沖縄では島ぐるみの闘いが

高まっています。現地では、弾圧に屈せず粘り強い抵抗が続けられています。翁長知事は、公有水面埋め立て承認について、第3者委員会の「法的に瑕疵があった」との報告を受け、取り消す動きを強めています。人権と自己決定権の尊重を求めて、国連で安倍政権の非道を訴える準備も進んでいます。こうした動きなどにより、安倍政権は作業を1か月中断せざるをえなくなりました。沖縄の闘いと連帯を強め、新基地建設をとめましょう!

……………・沖縄と共に、「戦争あかん、基地いらん」の声を大きく広げていきましょう!

# 「とめよう! 戦争への道・めざそう! アジアの平和」2015 関西のつどい 賛同と実行委員会参加のお願い

日頃の反戦平和運動への取り組みに敬意を表します。  
安倍政権は「戦争する国づくり」へと突進しています。  
米国との間で、集团的自衛権の容認を受けてガイドライン  
改定に合意、ついに7月16日、地球の裏側でも米軍と自  
衛隊が共同して戦争するための戦争法・安保法制の改悪  
を強行採決しました。若者を含む多くの人々の反対の起  
ち上がりにもかかわらず、9月中にも参議院での採決を  
もくろんでいます。

安倍政権のメディアに対する攻撃が強まり、秘密保護法  
で表現の自由が縛られ、反対運動に対する弾圧も強化さ  
れています。

沖縄では「辺野古新基地建設中止」の民意を無視して、  
防衛省、海上保安庁、米軍が反対する人々を暴力で弾  
圧しています。京都・経ヶ岬でも住民の強い反対にも  
かわからず、米軍Xバンドレーダー基地建設を強行し、  
米軍属による交通事故が多発し、騒音問題も起きていま  
す。これが彼らのいう「粛々」なのです。

安倍首相が「戦後70年談話」で、河野・村山談話を  
無視し、アジア諸国に甚大な被害を与えた植民地支配や  
侵略の事実を認めず、謝罪もしないことが明らかになる  
につれ、中国や韓国では安倍政権だけでなく日本への  
不信・不安が高まり、アジア全体で緊張が激化しています。  
米英豪などの歴史学者ら187人が、5月5日、安倍首相  
に「過ち」の清算を求める声明を出しました。

アベノミクスにより、一部のものだけが富み、圧倒的  
多数の貧困化が進んでいます。消費税の高騰、公共料金  
の値上げ、保険、医療費、福祉の切り捨てが進み、労働  
法制の改悪、労働者の権利の剥奪も進んでいます。

全国的な戦争法案強行採決に抗議する広範な起ち  
上がり、沖縄の全島あげての辺野古新基地建設反対の  
運動、大阪の住民投票で安倍の改憲・「戦争する国  
づくり」のお先棒担ぎ＝橋下・維新の「都構想」を拒否し、  
反戦・反基地の闘いは進んでいます。

これらの闘いと成果の上に、沖縄の闘いに連帯し、  
アジアの人々をつなげて、危険な安倍政権に立ち向か  
う民衆の運動を作り上げましょう。

私たちは、今年も、9月13日、中之島中央公会堂  
大ホールで、大阪平和人権センターとの共同で「とめ  
よう! 戦争への道・めざそう! アジアの平和」2015  
関西のつどいを開きます。この集会の準備中はまさに  
安倍政権の戦争法制定との闘いの真っ最中です。集会の  
準備そのものを「戦争する国づくり」との闘いと位置  
づけ、両立させることが求められています。厳しい  
情勢ですが、だからこそ集会の成功のために、みなさん  
の実行委員会への参加と賛同・ご協力をお願いいた  
します。

戦争あかん 基地いらん 関西のつどい実行委員会

連絡先

中北法律事務所

大阪市北区西天満 4-6-19 北ビル 2号館 402  
Tel:06-6364-0123 Fax:06-6364-5247

全港湾大阪支部

大阪市港区築港 1-12-27

Tel:06-6575-3131 Fax:06-6575-3134

賛同費 団体：1口 3000円 個人：1口 1000円

郵便振込先：00980-6-101680 戦争あかん 基地いらん 関西のつどい

賛 同 申 込

お名前・団体名 \_\_\_\_\_ ( 団体 ・ 個人 )

住 所 ・ 連 絡 先 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 口 \_\_\_\_\_ 円 2015年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日